

姫路市新美化センター整備・運営事業

審 査 講 評

令和8年10月5日

姫路市新美化センター整備運営事業者選定委員会

< 目 次 >

1. 事業概要	1
(1) 事業名	1
(2) 本事業の対象となる公共施設等の名称及び種類	1
(3) 公共施設等の管理者	1
(4) 本事業の目的	1
(5) 本施設の概要	1
(6) 事業期間	1
(7) 事業の対象となる業務範囲	2
2. 姫路市新美化センター整備運営事業者選定委員会	3
3. 審査方法等	3
(1) 入札の方法	3
(2) 審査方法	3
4. 落札者決定の経過等	5
5. 審査結果の概要	6
(1) 応募者	6
(2) 入札参加資格審査	7
(3) 入札参加資格審査結果の通知	7
(4) 基礎審査	7
(5) 非価格要素審査	8
(6) 価格要素審査	11
(7) 総合評価点の算出及び落札者の選定	11
6. 総評	12

(用語の定義は、入札説明書の用語の定義に準じるものとする。)

1. 事業概要

(1) 事業名

姫路市新美化センター整備・運営事業

(2) 本事業の対象となる公共施設等の名称及び種類

名称 : (仮称) 姫路市新美化センター

種類 : 一般廃棄物処理施設

(3) 公共施設等の管理者

姫路市長 清元 秀泰

(4) 本事業の目的

本市では、令和7年7月に策定した「姫路市新美化センター整備基本計画」に基づき、事業者のノウハウ等を活用し、効率的かつ効果的な「姫路市新美化センター」の整備及び運営を行い、本市財政負担の縮減と公共サービスの水準の向上を図ることを目的とする。

(5) 本施設の概要

本施設の概要は、次に示すとおりである。

項目	概要
事業実施場所	姫路市飾磨区今在家 1351 番地 27
処理対象物	可燃ごみ等
処理方式	全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ式)
施設規模	196t/24h (98t/24h×2 炉)
附帯施設 / 附帯設備	計量棟、駐車場、多目的広場 (兼災害廃棄物仮置場)、構内道路、門扉、囲障、植栽、その他関連する施設や設備等
供用開始	令和 14 年 4 月

(6) 事業期間

事業期間は、次のとおりである。

- ・設計・建設業務期間 : 事業契約締結日の翌日から令和 14 年 3 月まで
- ・運営・維持管理業務期間 : 令和 14 年 4 月から令和 34 年 3 月まで (20 年間)

(7) 事業の対象となる業務範囲

① 事業者が行う業務

1) 本施設の設計・建設に関する業務

- (ア) 本施設の設計
- (イ) 本市が提示する調査結果以外に必要な事前調査
- (ウ) 本市の循環型社会形成推進交付金（以下「交付金」という。）等申請支援
- (エ) 本市が行うその他許認可申請支援
- (オ) 本施設の建設（工事内訳書作成を含む。）
- (カ) 建設工事に係る許認可申請等

2) 本施設の運営・維持管理に関する業務

- (ア) 運転管理業務
- (イ) 維持管理業務
- (ウ) 余熱利用管理業務
- (エ) 測定管理業務
- (オ) 防災等管理業務
- (カ) 関連業務（見学者対応を含む。）
- (キ) 情報管理業務

② 本市が行う業務

1) 本施設の設計・建設に関する業務

- (ア) 用地の確保
- (イ) 本施設の交付金等申請手続
- (ウ) 本施設の設計・建設モニタリング
- (エ) その他これらを実施する上で必要な業務

2) 本施設の運営・維持管理に関する業務

- (ア) 住民対応
- (イ) 行政視察対応
- (ウ) 運営モニタリング
- (エ) その他これらを実施する上で必要な業務

2. 姫路市新美化センター整備運営事業者選定委員会

本市は、姫路市新美化センター整備・運営事業における事業者の選定に当たり、専門的知見に基づき公平かつ客観的な審査を実施するため、姫路市新美化センター整備運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置した。選定委員会を構成する委員は、表 1 に示すとおり学識経験者等から選出された次の 5 名である。

表 1 姫路市新美化センター整備運営事業者選定委員会委員

氏名	所属・役職
沖野 智子	日本公認会計士協会兵庫会
三枝 由季	兵庫県弁護士会姫路支部
八鍬 浩	公益社団法人全国都市清掃会議 技術部指導部長
◎ 吉原 福全	立命館大学 名誉教授
渡辺 信久	大阪工業大学工学部環境工学科 教授

（◎は委員長）

（敬称略・五十音順）

3. 審査方法等

（1）入札の方法

入札方法は、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 に規定する総合評価落札方式による一般競争入札により実施した。

（2）審査方法

本事業では、図 1 に示す流れで落札者を選定しており、その審査方法については次のとおりである。

入札参加資格審査を実施した後、応募者から提出された事業提案書について、基礎審査を実施した。その後、事業提案書の内容を評価して得点化する非価格要素審査及び入札価格を得点化する価格要素審査を実施し、非価格要素と価格要素それぞれの得点の合計を総合評価点とし、総合評価点の最も高い応募者を落札候補者として選定した。

このうち非価格要素審査の実施に当たっては、事前に応募者へのヒアリングを実施し、事業提案書の内容について理解を深めた。

なお、審査に当たっては、応募者が特定されない呼称（以下「応募者名」という。）を設定し、この応募者名のみが記載された審査資料に基づき審査し、応募者の匿名性を確保した。

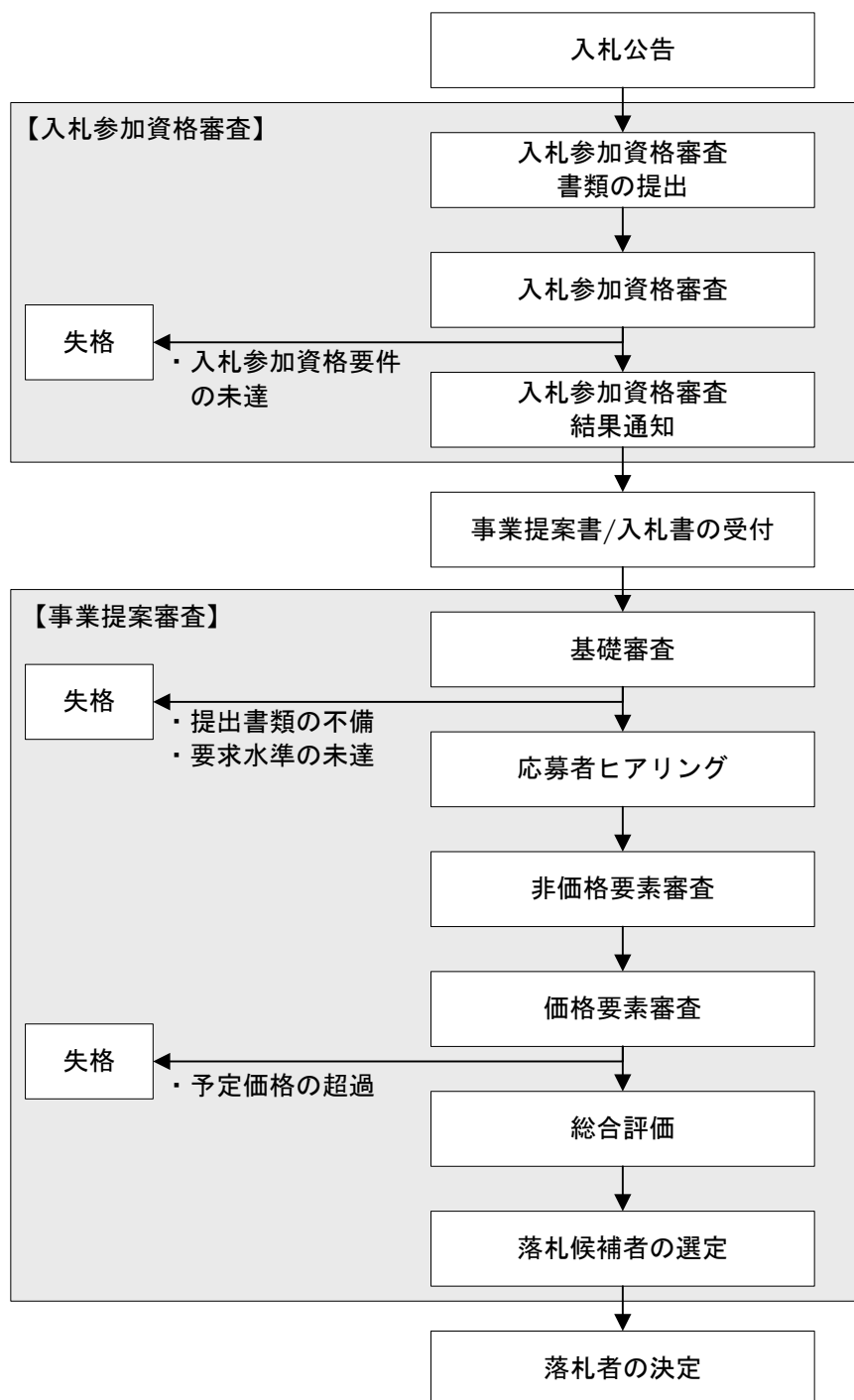


図1 落札者決定までの流れ

4. 落札者決定の経過等

落札者決定の経過等は、表 2 に示すとおりである。

表 2 落札者決定の経過等

日 程	内 容
令和 7 年 8 月 29 日 (金)	第 1 回 選定委員会 1. 姫路市新美化センター整備事業について 2. 選定委員会の審議スケジュールについて 3. 姫路市新美化センター整備運営事業者選定について ・実施方針について ・事業者審査方法について
令和 7 年 9 月 1 日 (月)	姫路市新美化センター整備・運営事業に係る実施方針の策定の 見通しの公表
令和 7 年 10 月 20 日 (月)	実施方針及び要求水準書 (案) の公表
令和 7 年 10 月 29 日 (水)	第 2 回 選定委員会 1. 選定委員会の議題及びスケジュールについて 2. 落札者決定基準の評価項目・評価基準について
令和 7 年 11 月 7 日 (金)	実施方針等に関する質問・意見の受付期限
令和 7 年 12 月 3 日 (水)	実施方針等に関する質問・意見への回答公表
令和 7 年 12 月 16 日 (火)	第 3 回 選定委員会 1. 選定委員会の議題及びスケジュールについて 2. 落札者決定基準について 3. 入札公告について
令和 8 年 1 月 23 日 (金)	特定事業の選定の公表
令和 8 年 1 月 26 日 (月)	入札公告及び入札関係書類の公表
令和 8 年 2 月 6 日 (金)	第 1 回入札関係書類に関する質問 (入札参加資格に関する質問) の受付期限
令和 8 年 2 月 13 日 (金)	第 1 回入札関係書類に関する質問 (入札参加資格以外に関する 質問) の受付期限
令和 8 年 2 月 20 日 (金)	第 1 回入札関係書類に関する質問 (入札参加資格に関する質問) への回答公表
令和 8 年 3 月 6 日 (金)	第 1 回入札関係書類に関する質問 (入札参加資格以外に関する質問) への回答公表
令和 8 年 3 月 25 日 (水) 26 日 (木)	現地見学会
令和 8 年 4 月 3 日 (金)	入札参加資格審査書類の受付期限
令和 8 年 4 月 9 日 (木)	入札参加資格審査結果の通知・応募者名の交付
令和 8 年 4 月 16 日 (木) 17 日 (金)	事業対話
令和 8 年 4 月 24 日 (金)	第 2 回入札関係書類に関する質問の受付期限
令和 8 年 5 月 22 日 (金)	第 2 回入札関係書類に関する質問への回答公表

日 程	内 容
令和 8 年 6 月 2 日 (火)	第 4 回 選定委員会 1. 選定委員会の議題及びスケジュールについて 2. 入札参加資格審査の結果 3. 落札候補者の選定方法
令和 8 年 7 月 15 日 (水)	事業提案書・入札書の受付期限
令和 8 年 9 月 4 日 (金)	第 5 回 選定委員会 1. 基礎審査 2. 応募者ヒアリング 3. 非価格要素審査 4. 価格要素審査 5. 総合評価 (落札候補者の選定) 6. 審査講評
令和 8 年 9 月 4 日 (金)	落札者の決定

5. 審査結果の概要

(1) 応募者

令和 8 年 1 月 26 日に入札公告した本事業では、3 者の応募者から入札参加資格審査書類が提出された。

■応募者名：海グループ

構成員／ 協力企業	(代表企業)三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 関西支店 大成建設株式会社 関西支店 株式会社ノバック 重環オペレーション株式会社
--------------	--

■応募者名：山グループ

構成員／ 協力企業	(代表企業)日鉄エンジニアリング株式会社 五洋建設株式会社 神戸営業所 株式会社ハマダ 日鉄環境エネルギーサービス株式会社
--------------	--

■応募者名：川グループ

構成員／ 協力企業	(代表企業)川崎重工業株式会社 関西支社 株木建設株式会社 大阪支店 美樹工業株式会社 立建設株式会社 カワサキグリーンテック株式会社 加古川工場 テスコ株式会社
--------------	--

(2) 入札参加資格審査

本市では、入札説明書で示した入札参加資格要件を応募者が満たしているか否かを審査した。結果は表3に示すとおりである。

表3 入札参加資格審査結果

項 目	応募者		
	海グループ	山グループ	川グループ
ア 共通の参加資格要件	合格	合格	合格
イ 各業務を行う者の要件			
(ア) 本施設におけるプラントの設計・建設を行う者の要件	合格	合格	合格
(イ) 本施設における建築物等の設計を行う者の要件	合格	合格	合格
(ウ) 本施設における建築物等の建設を行う者の要件	合格	合格	合格
(エ) 本施設の運営・維持管理業務を行う者の要件	合格	合格	合格

(3) 入札参加資格審査結果の通知

令和8年4月9日に入札参加資格審査結果を本市から応募者に通知した。なお、入札参加資格を確認した応募者に本市が応募者名（海・山・川グループ）を設定し、選定委員会では匿名により審査した。

(4) 基礎審査

応募者から提出された事業提案書等に記載された内容が、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を満たしているか否かを審査した。結果は表4に示すとおりである。

表4 基礎審査結果

項 目	応募者		
	海グループ	山グループ	川グループ
◆提出書類の整合確認 ○必要な書類がそろっているか。 ○書類間の整合が図られているか。	合 格	合 格	合 格
◆事業提案書と要求水準書との整合確認 ○提案内容が要求水準を満たしているか。	合 格	合 格	合 格

(5) 非価格要素審査

① 評価基準及び得点化方法

応募者から提出された非価格要素審査に関する提出書類は、落札者決定基準書に示す評価項目に対し、表5に示す評価内容及び得点化方法に従い、提案内容を得点化した。

表5 評価内容及び得点化方法

評価	評価内容	得点化方法
A	提案内容が非常に優れている	配点×1.00
B	AとCの間である	配点×0.75
C	提案内容が優れている	配点×0.50
D	CとEの間である	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である	配点×0.00

※表示は小数点第2位までとするが、計算上は四捨五入しない。

② 審査結果一覧

非価格要素審査結果は表6に、非価格要素審査での主な講評は表7に示すとおりである。

表6 非価格要素審査結果一覧

評価項目			配点	海 グループ	山 グループ	川 グループ
Ⅰ 安心・安全で安定的に処理が可能な施設			20	13.30	14.90	15.20
1. 全体配置・動線計画	(1) 平時の対応	4	6	2.80	3.00	3.60
	(2) 災害時の対応	2		1.30	1.30	1.30
2. 安定稼働		2		1.50	1.40	1.50
3. 運転体制		4		2.60	2.80	2.80
4. 緊急時の対応	(1) 災害への備え	2	6	1.20	1.50	1.30
	(2) ごみピット火災対応	4		2.60	3.60	3.40
5. 経営計画		2		1.30	1.30	1.30
Ⅱ 循環型社会・脱炭素社会の形成に寄与する施設			10	7.90	6.40	7.10
1. 省エネ・二酸化炭素排出量		4		2.80	3.00	3.00
2. エネルギーの有効活用	(1) 効率的な発電計画	4	6	3.60	2.20	2.80
	(2) 有効活用方法	2		1.50	1.20	1.30
Ⅲ 周辺環境に配慮した施設			12	8.60	8.70	9.00
1. 公害防止計画		4		2.80	3.00	3.20
2. 景観との調和		2		1.40	1.40	1.40
3. 施工計画	(1) 土壌汚染対策	2	6	1.50	1.40	1.40
	(2) 排水対策	2		1.50	1.50	1.60
	(3) 工程管理	2		1.40	1.40	1.40
Ⅳ 地域住民に親しまれ、地域に貢献する施設			8	4.67	5.71	6.05
1. 環境学習	(1) 環境学習機能	1	2	0.80	0.65	0.70
	(2) 情報発信方法	1		0.65	0.65	0.65
2. 搬入管理		4		2.20	3.00	3.00
3. 地元貢献	(1) 地元貢献	1	2	0.32	0.71	1.00
	(2) 地元雇用	1		0.70	0.70	0.70
Ⅴ 洗練された無駄のない施設			10	7.50	7.20	7.40
1. 長寿命化		4		2.80	3.00	3.00
2. 最終処分量の低減		2		1.90	1.40	1.40
3. 信頼性、耐久性		4		2.80	2.80	3.00
非価格点			60	41.97	42.91	44.75

注) 表示は小数点第2位までであるが、計算上は四捨五入していない。

表 7 非価格要素審査での主な講評

グループ名	提案内容に対する講評
海グループ	・指定避難所としての機能を想定した、具体的かつ多様な避難者に配慮した諸室計画の提案を評価した。 ・低熱負荷から高熱負荷までの幅広い安定燃焼を実施することで、ごみ量、ごみ質の変動にも幅広く対応できる提案を評価した。 ・ごみ量、ごみ質の変化に対応できる、運営業務期間中にわたり継続的に効率のよい多くの発電ができる具体的なシステム及び継続的な発電・売電計画の提案を評価した。 ・施工計画においては、十分な排水対策への提案を評価した。 ・見学者動線への工夫や面白さへの提案を評価した。 ・最終処分量への低減に関する計画を評価した。
山グループ	・より多くの人が多目的広場等へ来訪する可能性への提案を評価した。 ・ごみピットを活用した安定稼働への対応として、急なごみ量増加にも受入継続可能な設計・設備の提案を評価した。 ・様々な研究成果を反映したごみピット火災への対策としての初期消火対応、延焼防止対策、早期復旧対策等段階別の具体的な提案を評価した。 ・公害防止計画において、効果的な要監視基準のシステムに加え、より効果的なシステムを評価した。 ・施工計画においては、十分な排水対策への提案を評価した。 ・夜間搬入時のトラブル発生時への対応を評価した。 ・本施設を 30 年以上使用できるような長寿命化を図れる詳細な材質の選定と具体的な計画の提案を評価した。
川グループ	・敷地全体の安全を十分に確保したシンプルな配置動線計画の提案を評価した。 ・経験に基づいた具体的かつ効果的なごみピット火災対策の提案を評価した。 ・継続的により多くの発電や売電を得られる提案を評価した。 ・公害防止計画において、効果的な要監視基準のシステムを評価した。 ・施工計画においては、十分な排水対策への提案を評価した。 ・夜間搬入時のトラブル発生時への対応を評価した。 ・より多くの地元への貢献や地元雇用への計画を評価した。 ・本施設を 30 年以上使用できるような長寿命化を図れる詳細な材質の選定と具体的な計画の提案を評価した。

(6) 価格要素審査

希望する応募者の立会いのもとで開札し、予定価格の範囲内であることを確認した。

価格要素審査結果は表 8 に示すとおりである。価格要素審査は、落札者決定基準書に基づき、入札価格を得点化した。

表 8 価格要素審査結果一覧

項目		応募者		
		海グループ	山グループ	川グループ
入札価格（税抜き）		44,473,200,000 円	49,891,903,377 円	45,091,400,000 円
内訳	設計・建設工事費	30,930,000,000 円	36,197,000,000 円	32,961,700,000 円
	運営・維持管理業務委託費	13,543,200,000 円	13,694,903,377 円	12,129,700,000 円
価格点		40.00 点	35.66 点	39.45 点

注) $\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$

得点の表示は小数点第 2 位までとするが、計算上は四捨五入しない。

予定価格 : 60,124,900,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

入札書比較価格 : 54,659,000,000 円（予定価格の 110 分の 100 の額）

うち設計・建設工事費 : 36,578,000,000 円

うち運営・維持管理業務委託費 : 18,081,000,000 円

(7) 総合評価点の算出及び落札候補者の選定

落札者決定基準書に従って表 9 に示すとおり総合評価点を算出し、総合評価点の最も高い応募者「川グループ（代表企業：川崎重工業株式会社 関西支社）」を落札候補者として選定した。

表 9 総合評価点の算出結果

項目	応募者		
	海グループ	山グループ	川グループ
非価格点（配点 60 点）	41.97 点	42.91 点	44.75 点
価格点（配点 40 点）	40.00 点	35.66 点	39.45 点
総合評価点（配点 100 点）	81.97 点	78.57 点	84.20 点

注) $\text{総合評価点} = \text{非価格点} + \text{価格点}$

6. 総評

今回、入札に参加した各応募者の提案は、本事業の目的や内容を十分理解し、本市の要求水準を上回るものであったとともに、技術・運営面及び価格面双方において事業者の創意工夫やノウハウが盛り込まれた高い水準での提案であった。事業提案には、相当の時間と労力を要すると推測され、各応募者に対して、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げる。

選定委員会では、厳正なる審査の結果、応募者川グループ（代表企業：川崎重工業株式会社関西支社）を本事業において、本市の期待に応えることができる落札候補者として選定した。

今後、本市と川グループが良好なパートナーシップを構築し、安定したごみ処理を継続されることを望む。そのため、川グループに対しては、公共サービスの担い手として、更なる向上を目指し、次の点に留意することを望むものである。あわせて、選定委員会は、これらを配慮事項として本事業に反映させるため、本市においても、川グループに明確にこの内容を伝えるとともに、双方が誠実な協議を重ねることにより、本事業がより良いものになることを切望する。

- （１）令和 10 年 3 月までの着工に向けた確実な工程管理、地中障害物など不測の事態による工事中止を生じさせない対策、及び不測の事態が生じた場合の対応策への提案を確実に遵守すること。
- （２）地域貢献への提案の確実な履行とともに、運営開始後の地元雇用といった地域振興により一層努め、整備・運営期間中の地元との融和にも努めること。
- （３）市民の環境意識向上や本施設のイメージアップにつながる、効果的な環境学習機能の提案を確実に履行することで、市民がごみ処理を自分事としてとらえてもらえるような工夫をすること。
- （４）環境学習機能では、川グループの現在までの取り組みをしっかりと反映し、その内容を本市と十分に協議した上で、小学 4 年生が興味をそそるものとなるよう、より一層工夫すること。
- （５）整備・運営期間を通して、周辺環境との調和や環境保全の確保を確実なものとし、市民や近隣地域に配慮した設計・施工・運営とすること。
- （６）本市と川グループが適切なリスク分担のもと、本事業の安定性・継続性を確実なものとする。
- （７）ごみの排出状況を注視し、本施設の安定稼働とエネルギー回収に努めること。
- （８）本事業の状況や効果を可視化できるよう、情報発信に配慮すること。

令和 8 年 10 月 5 日

姫路市新美化センター整備運営事業者選定委員会

委員長 吉原 福全